

都市再生整備計画(第1回変更)

く め だ え き
久米田駅地区

おおさかふ きしわだし
大阪府 岸和田市

令和4年1月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	岸和田市	地区名	久米田駅地区	面積	170.5	ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度					

目標
 (大目標)生活拠点にふさわしいJR久米田駅周辺まちづくり
 目標1. にぎわいのある駅前空間づくり
 目標2. アクセスしやすい駅周辺空間づくり
 目標3. 安全で快適な駅周辺の交通環境づくり

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 (まちづくりの経緯)
 ・本地区は、JR久米田駅を中心に約1km(徒歩で約15分)圏内を対象とした都市計画道路で囲まれた区域である。久米田駅の1日乗降客数は約14,000人であり、久米田駅周辺は、市の生活拠点の1つとして位置付けられている。
 ・駅西側の国道26号沿いにおいては、昭和41年から平成23年まで土地区画整理事業が実施され、良好な市街地が形成されている。
 ・駅直近の西側においては、平成7年から「久米田駅西地区緑住まちづくり協議会」により、土地区画整理事業について検討を行ってきたが、西側改札設置の話が具体化しなかったため、事業化には至っていない。
 ・久米田駅周辺の喫緊の課題である駅東西アクセスの改善を図るため、平成26年度からJR西日本と協議を重ね、西側改札設置についての方向性がまとまり、平成29年6月に「久米田駅東西アクセス改善基本構想」を策定した。
 (現況)
 ・土地利用状況においては、久米田駅周辺では宅地化が進んでおり、特に西側においては、国道26号沿いの土地区画整理事業等により市街地が形成されている。しかし、駅直近においては、駅の西側に改札がなく、都市基盤施設が未整備であるため、近隣商業地域にもかかわらず、農地や利用されていない土地が多い。
 ・交通状況においては、駅周辺では、鉄道分断により駅東西のアクセス性が悪く、踏切付近では朝夕ラッシュ時に渋滞が発生している。また、改札がある駅東側においては、駅への車寄せ空間がなく、駅前が自動車で混雑し、歩行者、自転車、自動車が輻輳し危険な状況である。さらに駅へのバスの乗り入れができず、公共交通機関の乗り継ぎが悪い状況である。
 ・久米田駅の直近に久米田北一踏切(府道)があり、平成28年6月に国土交通省により緊急に対策の検討が必要な踏切(歩行者ボトルネック踏切)として抽出されている。また、京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会においても「地域の主要渋滞箇所」に選定されるなど、課題を抱えた踏切である。(平成19年4月、緊急に対策の検討が必要な踏切1,960箇所の公表時は自動車及び歩行者ボトルネック踏切であった。)

課題
 ・駅直近の低未利用地の有効活用の促進
 ・駅へのアクセス性及び交通結節機能の向上
 ・駅アクセスの分散化による駅周辺交通の円滑化

将来ビジョン(中長期)
 ・「岸和田市都市計画マスタープラン」(平成23年3月策定)において、久米田地域の将来像は、「商工業の活性化を図り、豊富な歴史資源を活かしたバランスのとれた自立型のまちづくり」としている。また、JR久米田駅周辺は都市基盤の整備と併せ、商業・医療・サービス業・居住等の都市機能が集積した安全で利便性の高い生活拠点の形成を目指す地区として位置付けられている。

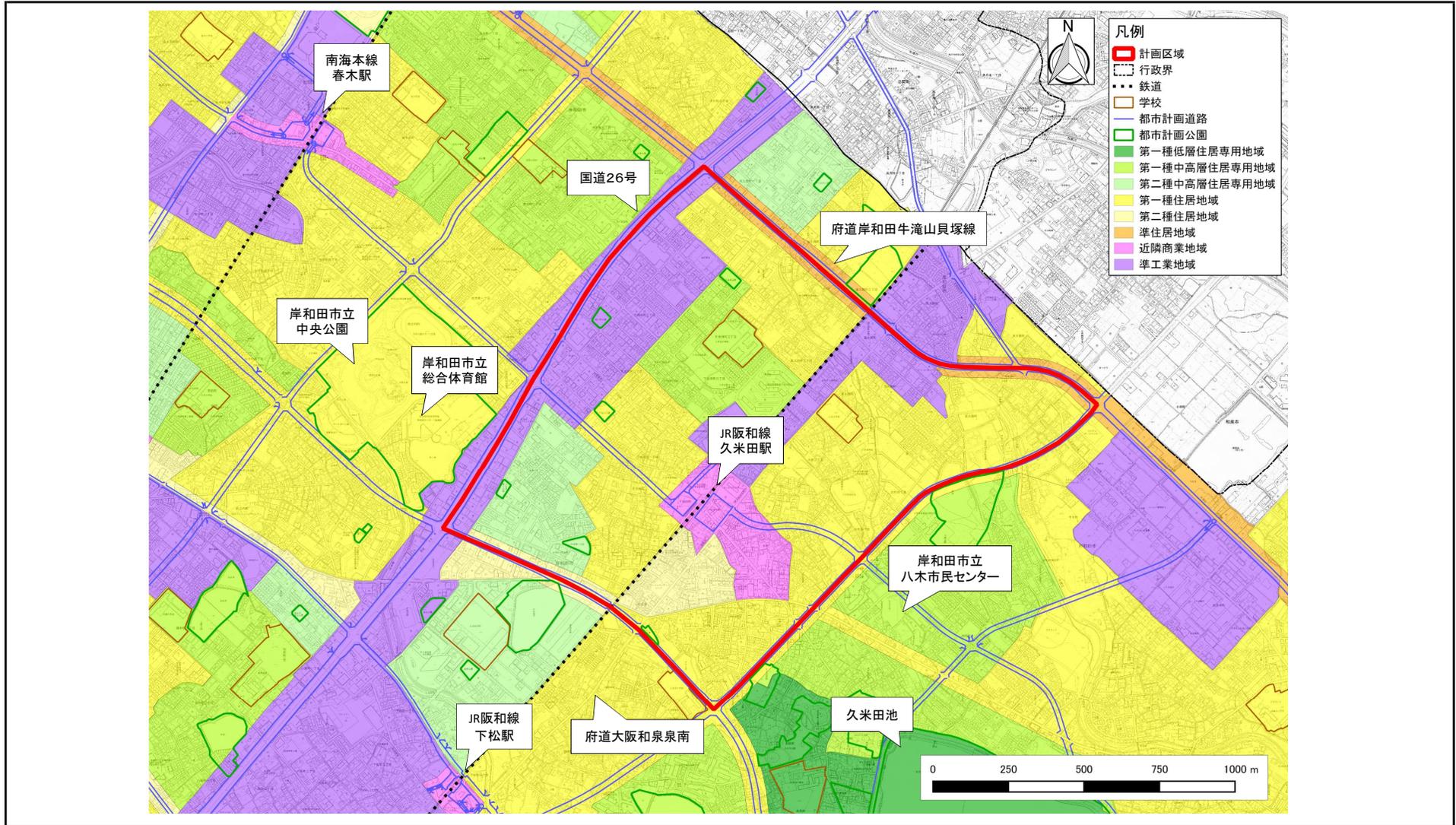
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅周辺の市街地に活気があると感じる市民の割合	%	市民意識調査	駅周辺の都市基盤施設の整備により、新たな土地利用が促進され、駅周辺が活性化される。	13.2	H28	14.0	R5
1日平均乗車人員	人/日	JR久米田駅1日平均乗車人員	駅へのアクセス性及び交通結節機能の向上により、駅利用者が増加する。	6,926	H27	7,300	R5
踏切歩行者等交通遮断量	人・時	久米田駅北一踏切における歩行者及び自転車の交通量×踏切遮断時間	駅アクセスの分散化により、踏切歩行者等交通遮断量が減少する。	46,676	H26	37,300	R5

整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1 駅直近の低未利用地の有効活用の促進を図るため、駅周辺の都市基盤施設を整備する。</p>	<p>【基幹事業】 ・道路：(仮称)久米田駅西停車場線 ・地域生活基盤施設：久米田駅西側駅前広場 ・高質空間形成施設：(仮称)久米田駅西停車場線 久米田駅西側駅前広場</p>
<p>・整備方針2 駅へのアクセス性及び交通結節機能の向上を図るため、アクセス道路、駅前広場を整備する。 令和4年度に改定される「岸和田市交通バリアフリー基本構想」における生活関連経路に指定される見込み(歩行者等通路は除く)であり、人にやさしく移動しやすい施設を整備する。</p>	<p>【基幹事業】 ・道路：(仮称)久米田駅西停車場線、歩行者等通路 ・地域生活基盤施設：久米田駅西側駅前広場 ・高質空間形成施設：(仮称)久米田駅西停車場線 久米田駅西側駅前広場 歩行者等通路</p>
<p>・整備方針3 駅アクセスの分散化による駅周辺交通の円滑化を図るため、アクセス道路、駅前広場を整備する。</p>	<p>【基幹事業】 ・道路：(仮称)久米田駅西停車場線、歩行者等通路 ・地域生活基盤施設：久米田駅西側駅前広場 ・高質空間形成施設：(仮称)久米田駅西停車場線 久米田駅西側駅前広場 歩行者等通路</p>
<p>その他</p>	

くめだえきちくおおさかかきしわだし 久米田駅地区(大阪府岸和田市)	面積 170.5 ha	区域 岸和田市下池田町、下池田町1~3丁目、大町、大町1丁目、大町3~4丁目、小松里町
--------------------------------------	----------------	--



久米田駅地区(大阪府岸和田市) 整備方針概要図

目標	生活拠点にふさわしいJR久米田駅周辺まちづくり	代表的な指標	駅周辺の市街地に活気があると感じる市民の割合 (%)	13.2 (H28年度) → 14.0 (R5年度)
			1日平均乗車人員 (人/日)	6,926 (H27年度) → 7,300 (R5年度)
			踏切歩行者等交通遮断量 (人・時)	46,676 (H26年度) → 37,300 (R5年度)

